

編集後記

アカデミック・ジャパニーズ・ジャーナル (AJJ) 第 12 号は、実践報告 2 編、調査報告 3 編、短信 3 編の計 8 編が掲載されています。今号も「ナラティブ」から「ヘッジ用法」まで多様性に富んでいますが、とりわけ、短信は「日本古典」、「視聴解」、「読書教育」といった新規性のある内容となっています。

AJJ 投稿規定において短信は「当該分野の研究・教育にとって価値ある情報に関する報告 (授業案・工夫等)」と定義しています。しかしながら、上記のような萌芽的な論考も短信として掲載しており、投稿区分がわかりにくいとのご指摘も承っております。現在、編集委員を中心に AJG 幹事も加わり、投稿区分を再検討しています。

今号は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、修正原稿の提出締め切りを 1 か月延長したため、発行も約 1 か月遅れとなりました。執筆者の皆様には、コロナ禍においてオンライン授業の準備・対応などでご多忙な中、ご執筆くださったことにあらためて感謝申し上げます。

(編集委員 N. T. 記)

刊行：2020 年 9 月

編集委員* (**は委員長)・アドバイザー五十音順

石毛順子 (国際教養大学)・石澤徹 (東京外国語大学) *伊藤奈津美 (早稲田大学)
牛窪隆太 (東洋大学)・*大島弥生 (立命館大学)・*大野早苗 (順天堂大学)
影山陽子 (昭和音楽大学)・門倉正美 (元横浜国立大学)・木下謙朗 (龍谷大学)
*小森万里 (大阪大学)・佐藤勢紀子 (東北大学)・佐藤正則 (山野美容芸術短期大学)
*鈴木秀明 (目白大学)・高橋薫 (創価大学)・**田中信之 (富山大学)
トンプソン美恵子 (山梨学院大学)・内藤真理子 (電気通信大学)
中山亜紀子 (広島大学)・古屋憲章 (山梨学院大学)・堀井恵子 (元武蔵野大学)
村上康代 (関西大学)・茂住和世 (東京情報大学)
山口麻子 (テンプル大学ジャパンキャンパス)・*吉田美登利 (東京工業大学)
*脇田里子 (同志社大学)